

# 地本業務ニュース

## J R 東海労・静岡地方本部

NO. 11 2020年6月19日 発行者：J R東海労静岡地方本部 半場弘恭

『申第10号』新型コロナウイルスによる感染防止対策の

さらなる強化について」会社回答

### 新型コロナウイルス感染症対策不十分！

## 社員の命と健康は守れない！

6月9日、「『申第10号』コロナウイルス感染症状対策のさらなる強化について」幹事間折衝で会社回答がありました。会社回答には、積極的に新型コロナウイルス感染症対策を強化し社員の命と健康を守る姿勢が見えませんでした。感染症が社内で発生した場合には、保健所と相談すると回答しました。社員の不安はよそに社員に感染発生した場合、事後対策を回答する始末でした。公共交通機関で働く私たちは、多くの旅客と接することから感染拡大をさせてしまう危険性があり、旅客の安全さえ脅かしてしまいかねません。そのため、ゴム手袋使用やPCR検査の実施を強く主張しました。その後、規程の訂正期日と変更の施工日時との関係について会社と議論しました。

以下回答と議論です。

1. 申第9号の申し入れを早急を実施すること

回答：申第9号に対しては令和2年5月27日に回答したとおりであり、現段階においても回答内容に変更は生じるものではないので実施する考えはない。

2. 現金、ICカード等を手に取り扱う業務の係員にゴム手袋を支給し使用させること。

回答：サービスの観点から接客時においてゴム手袋の着用を認める考えはないが、お客様の前で行わない券売機や清算機の締切り作業時においては着用を認めている。

組合：スーパーのレジなど現金取扱いが主であると手袋をしている。車掌が検札でお客様より握り締めた硬貨を受け取ると湿気ていたら、その場では手の消毒はしないが、乗務員室に戻り消毒をする。対応したお客様に見えないように消毒を行っても、客室にいる他のお客様がそれを見てどう思うか。JR東海の社員は客を感染者として扱っていると思われる。すべてのお客様がそのように思うわけではないが、イメージが悪い。車内放送において「新型コロナウイルス感染症対策で、送風、ドアの開け締めで車内の換気を行っています。お客様に感染させないようにしています。乗務員も感染しないために絶えず消毒を行っています。ご理解をお願いします。」というような放送をする。乗務員室に「感染症対策で乗務員はゴム手袋を着用し消毒を何度もします」とステッカー貼ってはどうか。JR東海は安心・安全の接客をしていると宣伝となる。現金、ICカード等を手に取り扱う業務の係員にゴム手袋を支給し、接客時に使用させること。

3、全社員に定期的にPCR検査及び抗体検査を実施すること。

回答：そのような考えはない。政府発表の新しい生活様式の実践例等を踏まえながら引き続き感染防止に取り組まれない。

組合：プロ野球、Jリーグは安心安全のためPCR検査を行うようだが、お客様の安心感を得るためにJR東海としても取り組むべき。現状難しく出来ないと言うならば、社員に感染者が出た時の対策を立てておくべき。

会社：保健所と相談して対応する。

組合：保健所に相談ではなく緊急時にどうするのか、具体的に対策を立てておくべきである。

## 規程の訂正は施行日までに訂正しなくてもよいのか！

組合：規程の訂正について、指導訓練で訂正箇所を確認することとなったが、施行日時までに規程の訂正をしなくてもよいのか。

会社：施行日迄に訂正してあることが望ましい。

新型コロナウイルス感染症対策で、これまで申し入れについて、幹事間で議論をしていきましたが、今後は業務委員会の開催を求めていくこととしました。

以上